

## 安倍昭恵総理夫人、旭酒造株桜井博志社長をお招きし 農業の未来・酒造りの未来を語る

# すばらしき日本の米!酒!講演会



講師のお二人、森長岡市長ご夫婦、吉田康様  
(㈱ブルボン社長)、山田錦生産者が集合

3月2日、アオーレ長岡にて「世界にはばたけすばらしき日本の米!酒!講演会」を開催しました。当日は山田錦生産者を中心として250名以上が参加。講演やパネルディスカッションを行いました。講演では、「自身も無農薬栽培に取り組む安倍昭恵の米づくり、酒づくり、夢づくり」と題し、体

線でのこれから農業の有り方を語られました。基調講演として、日本酒【獺祭】で全国的に有名な旭酒造桜井博志代表取締役からもお話をいただきました。「米が良くないと良い酒ができない」と、新潟県産山田錦に対する熱い期待を感じることができました。



旭酒造株桜井博志様による基調講演



ファーストレディ安倍昭恵様による特別講演

# 生産者通信

NPO法人  
米ニケーションセンター  
定価 100円(送料込)

## 新潟産「山田錦」のブランド化を目指す!

# 「新潟県山田錦協議会」の設立決定!

## 統一した栽培基準・検査・品質管理 合同の研修会を開催

平成26年、新潟・山田錦栽培会が発足し、寒冷地の新潟県で山田錦が栽培できることを実現

均一化。具体的には、  
①栽培基準の統一は、指導者と農法、及び、肥料・資材の統一による品質の

検討しています。協議会は、「新潟・山田錦栽培会」と「山田錦栽培研究会」が共同で運営となり、(新潟県山田錦協議会)を設立することになりました。

新潟県は、山田錦栽培の横断的な組織を作り、統一化を図ることに取り組んでいます。そこで、県内の山田錦栽培の横断的な組織を作り、統一化を図ることになりました。協議会は、「新潟・山田錦栽培会」と「山田錦栽培研究会」が共同で運営を検討しています。

具体的には、  
①栽培基準の統一は、指導者と農法、及び、肥料・資材の統一による品質の

統一化。具体的には、  
②栽培基準の統一は、指導者と農法、及び、肥料・資材の統一による品質の

統一化。具体的には、  
③米検査は、受験する検査機関でバラつきがでないよう、6・8月の事前研修、10月の他県産との目合わせ、そして検査の際に、残留農薬・放射線検査・DNA検査も視野に入れます。

富士通の「Akisai」の試験導入によるIT化への対応の研究。  
②研修会は、座学・圃場研修・先進地視察の合同開催。